



みんなで創る ほっと わくわく 波佐小学校

波佐っ子だより

令和6年2月号
浜田市立波佐小学校

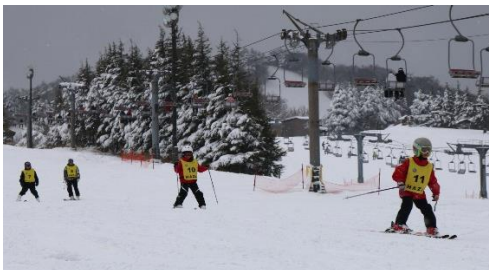
ホンモノの中で感性は育つ

1月24日にPTA研修会を開催し、益田市でスクールカウンセラーをされている稲田彰先生に「ホンモノの中で感性は育つ」と題して、講演をしていただきました。稲田先生の言われる「感性」とは、思いやり(人権感覚)、社会性、耐性、感謝の心、向上心、感動する心、自尊心・自己肯定感など、人間ならではの感情です。また、「ホンモノ」とは、自然、文化、そして、何よりも人です。その「ホンモノ」との出会いを阻害するものとして、特に強調されたのがメディアでした。



そのお話を聞いた翌日は、2年ぶりのスキー教室でした。特に1・2年生は、初めてのスキー。子どもたちの姿が、前日の講話と重なり、まさに「ホンモノの中で感性を育む」波佐ならではの貴重な体験活動であることを実感しました。雪の降る零下の日でしたが、子どもたちは夢中になって粘り強く取り組み、見違えるほど上達しました。一つ一つ壁を乗り越えながら、自分でできるようになっていく喜びを実感し、とてもうれしそうでした。

現在、浜田市内でスキー教室を実施している学校は、本校のみです。波佐とゆかりのある大佐スキー場で、実体験を通して学ぶスキー教室の意義を改めて再認識しました。



1/19 届いた!大谷グローブ



あの「大谷グローブ」を目の当たりにし、子どもたちは早速、触ったり野球をしたり。大谷選手からの「このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルになることを望んでいます」というメッセージも紹介しました。ぜひ見に来てください。

1/19 クラブ(生け花)



槇田さん、石田さんにご指導いただきました。子どもたちはとても集中し、基本を踏まえつつも、それぞれの個性が作品に表れていました。2回目も予定しており、卒業式に飾ります。

1/28 書き初め表彰



島根書き初め展に出品し、竹田絢音さんが「益田市教育委員会賞」を受賞しました。また、金賞4名、銀賞6名、銅賞1名と、大変すばらしい結果でした。中尾先生のご指導と、子どもたちの真剣な取組の成果です。

1/30 まちづくりセンター掃除



6年生の「地域への恩返し奉仕活動第2弾」として、波佐まちづくりセンターの掃除をしました。約1時間、黙々と掃除をし、まちづくりセンターの方にも大変喜んでいただきました。

2/7 味噌づくり(1・2年)



佐々岡さん、澄川さん、酒井さんにお世話になり、先日作った麴を使って味噌を作りました。押し混ぜ合わせる作業は大変でしたが、味噌作りの工程を体験的に学ぶことができました。

2/8 縄跳び集会



失敗しても、「がんばれ!」という声に励まされ、短縄、長縄で、多くの自己最高記録が出ました。これまで根気強く取り組んできた成果を十分に発揮し、「継続は力なり」を実感しました。

2/9 波佐っ子恩返し隊企画 感謝会 in 波佐まちづくりセンター

地域への恩返し活動の一つとして、全校児童が波佐まちづくりセンターの活動に参加している方々21名と交流会をしました。この会は、2名の6年生が総合的な学習の時間の取組として企画し、約2カ月間準備を進めてきました。ポッチャでは、6年生が説明と審判をしました。その後、何度も試作を重ねた「はざっ子もち」を食べながら交流トークを楽しみました。参加者からは、「しっかりあいさつや進行をしていた」「段取りがよく、はきはきと礼儀正しい態度が気持ちよかった」「元気と笑顔、涙が出た」「焼餅が大変おいしかった」「素直でキラキラしている姿を見て感動した」「また地域の人との交流を計画してほしい」などの感想をいただき、大変喜んでいただきました。「卒業式に行ってもいいですか?」などのお声もあり、距離がぐっと近づいたのを感じました。今後もぜひこのような交流の機会を計画したいと思っています。
※3月14日(木)9:30~卒業式 地域席を設けますので、ご参加いただける方はご連絡ください。(44-0028)



教育活動アンケート ~ご協力ありがとうございました~

今年度特に重点にした教育活動について、2学期末に保護者の皆様にアンケートを取らせていただきました。(肯定的評価「そう思う」「どちらかというと思う」90%以上:○ 50%未満:●)

○パソコン操作について、お子様はホームポジションから、決まった指でタイピングできる。

○体操クラブ、ロードレース大会等の体育的な取組は、お子様の体力向上につながったと思う。

○学校は、ふるさとへの「ひと・もの・こと」に積極的にかかわり、ふるさとへの愛着や誇りを育む教育に努めていると思う。

○学校は、学習や行事等の掲示物を通して、子どもたちが自分の成長や季節感を感じられるよう努めていると思う。

○学校は、子どもたちが気持ちよく学習に向かえるよう、環境整備に努めていると思う。

●お子様は、家庭でも読書をする習慣(1日10分+α)が身についている。

また、2月7日には第3回学校評議員会を開催しました。アンケート結果や教職員の自己評価について、「地域でも遠くからあいさつをよくしてくれ、学校での取組の成果が感じられる。」「親子のコミュニケーションが希薄になっていると言われる。努めてやってほしい。親の学びも大切。」「地域とのつながりが、学校だよりに度々出てきて、様子がよくわかる。」などのご意見をいただきました。

